

## 神の国到来のしるし

マルコによる福音書一章21〜34節

人々は皆驚いて、論じ合った。「これは一体何事だ。権威ある新しい教えだ。この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聞く。」(27)

主イエスは言葉を通して神の国の到来を告げるだけでなく、そのわざを通して神の国が人間の世界に実現したことを証しされました。著者マルコは、悪霊の追放や病気の治癒を単なる奇蹟としてではなく、神の国の到来の宣言として記しました。同じような奇蹟は他の宗教でも起こるかもしれませんが。問題は本当に奇蹟が行われているかどうかではなく、それがどのような目的と意味をもってなされているかということです。主イエスの意図は、これらの奇蹟を通して主イエスこそ力ある支配者、真の神であることに人々の目が開かれるようにということです。群衆のように主のみわざにただ驚いて終わりではなりません。そこに確かに神が生きて働いておられることを、主イエスこそ王の王、主の主であるとの信仰をいよいよ確かなものとさせていただきたいと思えます。